

# 第20回ヘルスカウンセリング学会学術大会

9月 浦安

## 会長インタビュー

NPO法人ヘルスカウンセリング学会

(筑波大学名誉教授) 宗像 恒次会長



第20回ヘルスカウンセリング学会学術大会が9月21、22の両日、千葉県浦安市の明海大学で開かれる。テーマは「見通しの立たない時

代会のウェルビーイング」。イマに沿って基調講演。シ

会長の宗像恒次・筑波大学名誉教授は「政治経済、自然環境、社会制度などすべ

「見通しの立たないストレスにおいて見通しの立たない時代だからこそ、どう生きればいいのか自分に見通しをつけないといけない

を予定し、病やストレスの克服やその支援を通して今までの自己の生き方や世界観を見直し、笑顔で自分らしく生きるウェルビーイングの方法を考えるきっかけにしたい」と語る。

大会では宗像氏が大会テーマ「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

## 不透明な時代のウェルビーイングとは 世界観・人生観見直す意義を説く

宗像 恒次会長

「見通しの立たないストレスにおいて見通しの立たない時代だからこそ、どう生きればいいのか自分に見通しをつけないといけない

を予定し、病やストレスの克服やその支援を通して今までの自己の生き方や世界観を見直し、笑顔で自分らしく生きるウェルビーイングの方法を考えるきっかけにしたい」と語る。

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし

「人は、がんやうつ病など病になると本人も家族も今までの生き方を問い直します。すると多くの人がストレスを抱えやすい生き方をし